

新しい産直—「CSA」をはじめます

地域支援型農業

鳴子よいっこ便

Naruko Yoikko Bin

助け合うしくみ
=「よいっこ」

かつて村では、田植えや茅葺き屋根の葺き替えなど、農家一軒ではこなし切れない仕事を近所同士が助け合って行いました。互いが互いのために力を出し合う暮らし。農村と都市が結び合う暮らし方を「よいっこ便」という名前に込めました。

契約購入メンバー募集のお知らせ

鳴子の野菜を仙台へ



【鳴子よいっこ便】はこんな内容です

●料金／
月1回×5ヶ月（2019年7月・8月・9月・10月・11月）
5ヶ月分・5,000円（税込）前払いとなります

●受け渡し場所／東北福祉大学
仙台駅東口キャンパス 1F
毎月第1日曜に開催される「ファーマーズマーケット」
会場でお渡し（仙台市宮城野区榴ヶ岡 2-5-26）

会場にいらした契約購入メンバーのみなさんに、数種類の野菜等をお渡します。ご都合のつかない場合は、お友だちや知人の方でもお受けします。農家とおしゃべりしながら交流のひとつときを！



●野菜や加工品をお届け／
採りたての新鮮な野菜を数種類、また加工品などをお持ちします。畑の野菜の育ちは天候次第。何が届くかはお楽しみに。

●ご意見、ご感想をお聞かせください／
この5ヶ月間はお試し期間です。本格始動に向けてアンケートにお答えいただけます。

●「CSA」って何？

産直よりさらに進んで農家（作り手）と消費者（食べ手）が信頼を寄せ合い、農産物を予約してもらって生産販売する農業の新しいかたちです。Community Supported Agriculture = 地域支援型農業ともよばれています。14年前から鳴子で食べ手と直接つながってお米「ゆきむすび」の予約生産を続けてきた「鳴子の米プロジェクト」では、この夏から活動を野菜にも広げ、仙台の方々にメンバーになっていただき直接野菜を手渡す「鳴子よいっこ便」を始めることにいたしました。11月までの5ヶ月間のお試し期間の契約購入メンバーを募集しています。農家と交流しながら、毎日の食の基本を整える一歩にしませんか？

●「鳴子の米プロジェクト」とは？

食べ手と結び合いながら、小さな農家がやりがいをもち、農業を続けられるよう、農家が持続できる価格で新品種「ゆきむすび」を予約販売してきました。2006年に始まった活動は、お米の売買をこえたコミュニティとよばれるつながりに育っています。作り手と食べ手のいい関係を築きながら、安定的な生産と安心できる食卓を実現していくことをめざしています。

▶「野菜」受け渡しまでの流れ

申し込み書を送る

下記の申し込み用紙をファクスでお送りください。メールでもお受けします。



届いた振込用紙で送金

事務局からお送りする振込用紙でご送金をお願いします。



受け渡し場所で野菜を受け取る

事務局がお示する受け渡し場所にお出かけください。



アンケートに回答

定期的にアンケートにお答えください。



▼お申込書 FAX 0229-29-9437 または下記内容を Email でお送りください。

ご氏名（ふりがな）	〒	電話番号（ ）	—
	ご住所		
	携帯電話	—	—
		メールアドレス	

▶お問い合わせ・お申し込み

プロジェクト鳴子 CSA

事務局：NPO 法人 鳴子の米プロジェクト内
〒989-6832 宮城県大崎市鳴子温泉字星沼 77-84

TEL / 0229-29-9436 FAX / 0229-29-9437
E-mail / komepro_csa@yahoo.co.jp

*本事業はトヨタ財団 2017年国内助成プログラム<そだてる>の助成金により実施しています。